

自治体DXに必要なこと

山口功作

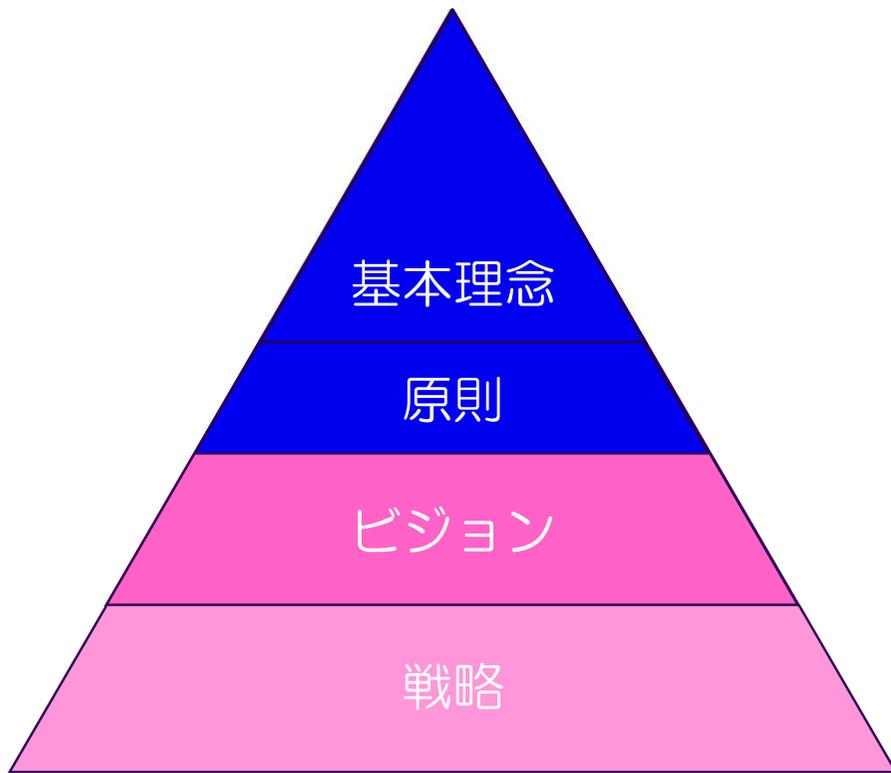
Social Concept

変化する社会モデル

日本列島改造論	田園都市国家構想	デジタル社会
工業文明	脱工業文明	デジタル文明
閉鎖的な地域社会	開かれた地域社会	繋がる地域社会
モデル・ニュータウン建設	人間生活の総合的環境の計画的整備	多拠点モデル
ハードウェアの整備	ハードとソフトの活用	データの利活用
近代合理主義と西欧的アプローチ	日本の国民性や社会組織の特質の活用	多様性の受け入れと持続性の探求
トップダウン	ボトムアップ	リーダーシップ
机上の青写真の実行	地域の優良事例の伸長	地域ごとの持続的成長
縦割り行政	各地域社会と国民の英知の結集	各地域ごとのゴールの設定
二文法（中央か地方か？等）	共存の論理	独自性の共有
公共政策偏重	多様な主体の積極参加	
画一主義	自発的な創意工夫	

DX procedure

デジタル化に欠かせぬプロセス



デジタル社会の 基本理念

誰一人取り残さない

PROCEDURE

Fact Based
Fairness
Openness
Transparency

公平な議論

事実に基づいた
議論

開かれた
議論

公正な判断

透明な
プロセス

Free
Address
(Age)
City
Takamatsu

CONCEPT

Civic Drive
Free Address
Equality
Transformation
Data Ownership

真の
平等な社会

市民
誘導型社会

誰でも
どこからでも
参加できる

データは
個人に帰属

次世代に
即した
業務見直し

透明性の確保

METHOD

3 Layers
Perspective
Openness

Digital
Transformation
DX

Digitalization
つながる社会

Digitization
オンライン化
RPA

市民の視座

開かれた採択

DATA SECURITY

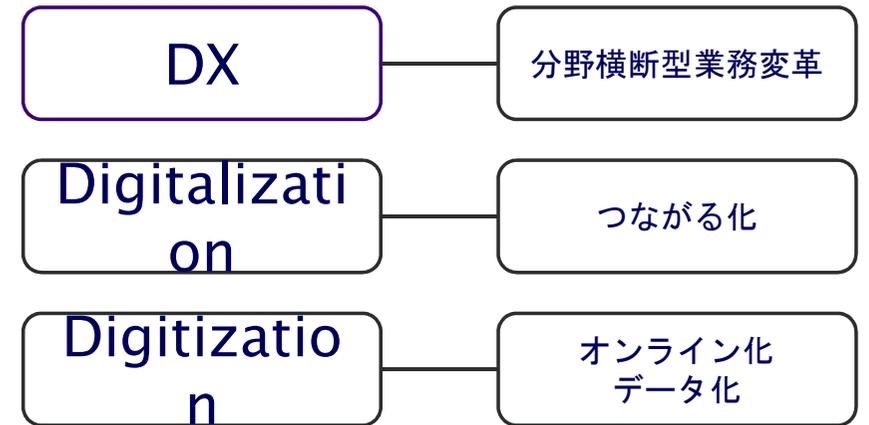
Transparency
Integrity
Identity

マイナンバー
カード

整合性の確保

Layers

デジタル化の三層構造を理解する



- + 改善と改革
- + BPR無きDXはDXにあらず

Procedure

DXに必要な手順

STEP 0

首長・DX担当部署・業務改革担当部署は、業務棚卸・課題等を、業務担当部門・若手職員・市民・産業界等との意見交換を通じて把握・共有するとともに、まちづくりの基本計画等に照らした、基本理念・原則等の概念形成を行なう。

STEP 1

STEP0で確立された基本理念を基に、各所との合意形成を丁寧に行なう。全体構想となる基本方針を策定する。



STEP 2

STEP1で設定された基本方針を基に、必要となる体制を整備する。首長補佐として、CDO（Digital・Data・Design）を登用する。内部人材の育成方針を策定する。



STEP 3

STEP2の体制で計画された戦略に基づき、個別プロジェクトを実行する。技術や解決手段は道具であって、目的ではないことを常に意識すること。



What's service?

真のサービスとは？

- + 意識をしないデジタルとは？
 - 直感的に完結すること
- + 行政職員の本分とは何か？
 - 処理と分配からの脱却
 - 失敗の文化を作る
- + デジタル化は目的ではなく手段である
 - 目的はアナログサービスの向上

Zone

地域をどう捉えるか？

- + 考えるべき「生活圏」
- + 見据えるべき「多拠点化」
 - >>> 行政区分を超えた相互運用性

Leadership

誰が導くのか？